

4 佐世保市における保健・医療・福祉施策の基本理念

本市は、すべての市民が安心して過ごすことができ、それぞれが誇りをもって自分らしく生きることができる社会の実現を目指します。そのために、以下の基本理念をもとにした支援体制の整備を図っていきます。

1 住み慣れた地域社会で生活していくための支援システムをつくります

支援を必要とする市民に対し、それぞれの状態やニーズに合った、保健・医療・福祉サービスが適切かつ効果的に提供されるように、様々なサービス提供者・関係機関と役割分担や連携をしながら、保健・医療・福祉サービスを総合的、包括的に提供できるシステムを確立します。また、市域の面積が広い本市において市民に身近な地域で必要とされるサービスを提供し、また、地域に密着した活動を推進するために、中央集中型ではなく地域分散型の拠点の整備や施策の展開を図ります。

2 自己選択を担保するための権利擁護システムをつくります

保健福祉サービスの提供を受ける仕組みの多くが「措置から契約」へと変化することに伴い、サービスを選択する市民とサービスを提供する事業者が対等な関係によって契約を結び、その後も自己選択することができるか否かが重要な課題となってきます。市民の意志が最大限に尊重されるよう、情報を提供できる環境の整備や、どのような状況でも自己選択を可能にするための権利擁護システムを確立します。

3 生活の質（QOL）の向上を目指します

体が不自由であっても、寝たきりになったとしても、安心して快適に生活できるようにサービスを確保していきます。その際、高齢者や障害のある人を含むすべての市民が、コミュニケーションやレクリエーション活動等を通じて社会参加することを楽しむなど、健康で生きがいのある生活ができるように、ソフト・ハードの両面にわたって環境を整備し、それぞれの人の生活の質（Quality Of Life）の向上を目指します。

4 バリアフリーのまちづくりを推進します

市民が生き生きと暮らし、出会い、交流するためには、すべての人にやさしいまちづくりが重要です。そのために居宅内の障壁（バリア）を取り除くことのみならず、高齢者や障害のある人の社会参加を阻む道路、建物、交通手段などの物理的障壁や情報、

コミュニケーションの障壁など目に見えない社会的・制度的・心理的障壁を取り除くこと（バリアフリー）を推進します。

5 ノーマライゼーションの理念の実現を目指します

豊かな市民生活を実現するためには、すべての人が社会の構成員としてあたりまえの生活や社会参加ができることが重要です。そのためには、高齢者や障害のある人が地域社会で生活したり、希望する活動に参加することを受け入れる地域社会をつくる必要があります。

こうした地域社会をつくっていくための基本的な考え方であるノーマライゼーションの理念の実現を、すべての施策を通して目指します。

6 市民主体の福祉文化を創造します

保健福祉サービスは、地域ごとにそれぞれ特色をもっています。福祉が地域の文化として育っていけば、福祉に対する市民の意識も高まり、さらに市民の積極的な地域活動も広がるようになります。

そのためには、市民が地方自治の主人公としての自覚を持ち、より豊かな生活をするための方策を市民自らが考え、より積極的な地域活動を行うことが期待されます。

そのような、市民の持つ様々な考え方を施策に反映させる仕組みを作り上げていくことで、福祉が文化の中心になっていくよう努めます。

7 民間活力や多様なサービス提供者の参入を促進します

これからの市民の多様なニーズに対応するためには、柔軟なサービスや安価で質の良いサービスが提供されることが望まれます。そのためには、様々なサービス提供者の参入を促進させることが必要です。

民間事業者や民間団体、あるいは市民参加の特定非営利組織（NPO）などの提供するサービスを軸に据え、公的機関の役割を明確にしながら、多様なサービスの提供を図ります。